

<b>【技術の名称】</b> 異形鉄線溶接金網「CDメッシュ」の重ね継手・定着工法（改定4）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第01-08号 改4 性能証明発効日：2014年8月4日 <b>【取得者】</b> 昭和産業グループ (代表会社) 昭和産業株式会社
---	---

**【技術の概要】**

本技術に使用するCDメッシュは、JIS G 3551(溶接金網及び鉄筋格子)に適合し、かつ、特別管理によって溶接点せん断強さ(250N/mm<sup>2</sup>以上)を確保した異形鉄線溶接金網である。本技術は、鉄筋コンクリート床スラブに用いるCDメッシュの重ね継手および端部定着の設計、施工法である。本技術の特色として、配筋工事の施工性向上を意図し、溶接金網の重ね継手部および端部定着部において直交方向の鉄線を取り除いても、異形鉄線の付着作用により継手強度および定着強度を確保できる。

**【改定の内容】**

- 新規：GBRC 性能証明 第01-08号(2001年9月4日)  
改定1：GBRC 性能証明 第01-08号 改(2008年9月2日)  
・ 申込者の名称変更  
・ 適用範囲の追加 (CDメッシュ径)  
改定2：GBRC 性能証明 第01-08号 改2(2009年9月1日)  
・ 目標性能の追加 (合成スラブ)  
・ 適用範囲の追加 (コンクリートの設計基準強度)  
改定3：GBRC 性能証明 第01-08号 改3(2013年9月24日)  
・ 参加企業の追加  
改定4：GBRC 性能証明 第01-08号 改4(今回)  
・ 参加企業の追加

**【技術開発の趣旨】**

溶接金網を用いた床スラブの現行の設計法は、丸鉄線を用いた溶接金網の使用を前提にしたものであり、リブを有する異形鉄線の付着効果を評価していない。本技術は、この点に着目し、異形鉄線を用いた利点を発揮できるように開発したものである。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

- 1) 申込者が提案する「異形鉄線溶接金網「CDメッシュ」の重ね継手・定着工法 設計・施工要領書」に従って設計される鉄筋コンクリート床スラブおよび合成スラブにおけるCDメッシュの重ね継手部および端部定着部は、長期荷重時に使用上支障となるひび割れを発生せず、またCDメッシュがJIS G 3551に規定する規格最小引張降伏点に達しても付着破壊を起こさない。

- 2) 申込者が提案する「異形鉄線溶接金網「CDメッシュ」の重ね継手・定着工法 設計・施工要領書」に従って合成スラブに配置される梁上補強筋は、長期荷重時のひび割れ幅の拡大防止効果を有する。



CDメッシュを合成スラブに用いた構造物実験



CDメッシュを合成スラブに用いた耐火試験

**【本技術の問合せ先】**

昭和産業グループ

(代表会社) 昭和産業株式会社 担当者：杉山 公一 E-mail：sugiyama@showasangyo.co.jp

〒308-0857 茨城県筑西市小川1911 TEL：0296(28)1234 FAX：0296(28)1367